



## 6月の映画会に15名

湘南支部では久しぶりの行事として、中国映画「再会の食卓」の上映会を開催しました。6月13日(土)午後、梅雨の雨の下、藤沢市内の会場には支部の内外から15名が集いました。

開会前に県連や川崎支部などから活動予告や宣伝があり、開会時間とともに山内幹郎副支部長が開会のあいさつを行い、岡崎雄児さん(元中京学院大学教授)に鑑賞にあたってのポイントを少しだけ解説していただいた後、上映が始まりました。

2010年ベルリン国際映画祭銀熊賞(最優秀脚本賞)受賞作品です。物語は1949年の国共両軍による上海攻防戦の末、台湾に渡った夫が上海に残された妻、上海で再婚した相手の3人と半世紀の時を超えて再会することによる各人の心理を描いていて、先進都市上海と昔ながらの暮らし、懐かしのメロディー、様々な食卓の風景を舞台装飾として、夫婦愛や家族愛を考えさせます。



上映後に岡崎さんから時代背景などを解説していただき、参加者が感想を交換しました。「食べること、生活を豊かにすることを重視している。お金の世の中で、健全な市民感覚を感じた。」  
「映画の2008年当時にはまだ台湾の経済力が本土に差をつけていたことも、元妻を台湾に呼び

寄せようとする背景にあったのではないか。」  
「やや感動に欠ける。」  
「路上の食卓がスコールに遭遇するシーンは『政治によるどしゃ降り』を暗示しているのか。」など多様な感想が出されました。最後に今野耕太副支部長が閉会のあいさつを行いました。

上映会では新型コロナ対策として、マスク着用。入室前の手指消毒、窓を開けて外気を入れる換気、並んで座らないように前もって座れない座席を示すなどの「新しい活動様式」を実践しました。

## 会員の府川さんが出版

湘南支部で会計監査の責を担っていただいている府川清さんが詩集「流域の自由民権運動～花水川外伝」を出版されました。

神奈川新聞の読書欄やタウンニュース平塚版にも取り上げられ話題となっています。

岩崎稔さんの書評に「自由民権運動の歴史叙事詩と呼ぶべきもので、いままでにない画期的な作品」と紹介されています。

入手ご希望の方は0463-34-7475にお電話を。頒価1,000円です。

### 第14回湘南支部総会

8月8日(土)午後3時30分～  
藤沢市役所 本庁舎5階 第2会議室  
※会員には開催のお知らせを郵送いたします。

※欠席の方は委任状を提出ください。  
※当日午後1時30分～岡崎雄児さんによる「ニエアル没後85周年記念～講演と音楽の集い」を開催します。

# 中国を知るシリーズ <第6回> 華東地方

このコーナーは「理解は絆を強くする」を合言葉に日本中国友好協会が全国的に取り組んでいる「中国百科検定」の公式テキストである「中国百科」から抜粋・加筆してご紹介するものです。

中国を知る機会としてお読みください。

## <第6回>華東地方

### ■山東省

太行山脈の東側、山東半島と華北平原からなる全国第2の人口9,700万人を誇る。新石器時代に龍山文化を生み出し、春秋時代には孔子、孟子、孫子らが活躍した。秦の始皇帝など多くの皇帝が「封禪の儀」を執り行った泰山（道教の聖地である五岳のひとつ=写真）もある。



省都は済南市だが、副省級市となっている青島（チンタオ）はハイアール、青島ビールなどの成長企業を排出している。青島、威海、煙台などには対岸の韓国から進出した企業も多い。

### ■安徽省

中国の南北を画する淮河が省の北部を横断しているため、長江と淮河の水運を活用した「新安商人」が活躍したが、現代では両淮炭鉱を活用した馬鞍山の鉄鋼、銅陵の銅製錬、蕪湖の自動車などの工業が発展している。

省内には天下の名山・黄山があり、省都は合肥市。人口は6,000万人。国内でも貧しい省として知られるが、三国志の曹操、明朝建国の朱元璋、清末の李鴻章、元国家主席の胡錦濤、現國務院総理の李克強など多くの人材を輩出してきた。

### ■江蘇省

上海を含む地域であった歴史があり、古代や明初、中華民国の首都が置かれた南京があることから重要な省。省の南部を長江が横断する。人口7,900万人で省都は南京市。上海から南京に至る地域は工業地帯として発展しており、全国屈指のGDPを誇る。

鑑真の大明寺、寒山寺の漢詩、「蘇州夜曲」、「無錫旅情」など日本との文化的な繋がりも深い。日中戦争では「南京攻略」の過程で、日本軍による虐殺が各地で行われた（南京大虐殺）。

### ■浙江省

「天に極楽、地に蘇杭」と讃えられた風光明媚な杭州市が省都。

「温州商人」の故地である温州、紹興酒の紹興、世界最長の杭州湾海上大橋がかかる寧波などは杭州とともに平均所得の高い町として知られる。人口は5,500万人。

### ■福建省

省内は9割が山地と丘陵になっていて「東南の山国」の称をもつ。耕地が少ないために人口密度が高く、その結果、多くの海外移民を生んでおり、広東省に次ぐ多数の華僑を送り出している。

台湾の向かい側に位置しており、国共内戦前からの台湾住民である「本省人」はほとんどが福建省の出身。省都は福州市で、人口は3,700万人。

ウーロン茶の茶葉はそのほとんどが省内で生産されている。

省内には風光明媚なコロンス島、川下りが有名な武夷山、客家土楼群（写真）、海外交易都市・泉州など観光地も多い。

